

環境活動レポート

2010年度

(2009年10月～2010年9月)



有限会社 丸徳産業

ごあいさつ

KES STEP1 の活動5年目が終わり、環境改善活動への取り組みや従業員の意識が向上し、定着してまいりました。環境改善活動は精神的な部分でも改善出来るものであると考え、環境とともに人も磨くことの出来る大事な活動であると思います。今後も様々な活動を継続いたします。

「継続は力なり」を念頭に、全従業員一丸となり、更なる改善効果に期待するとともに、楽しみながら効果を出していきたいと考えます。

また、地球規模での環境問題とも向き合い、我々の出来ること、背伸びをせず、「今、全従業員に出来ること」を推進してまいります。

当社は一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬、一般貨物自動車運送を主要事業としていく中で、少しでも環境面の負荷を低減し、クリーンな地球を子孫に残すべく努力していくことを経営の基本理念として取り組んでまいります。

ここに、本年度の当社環境改善活動の結果をご報告し、みなさまのご意見を仰ぎたいと存じます。

2010年12月
有限会社 丸徳産業
代表取締役
木下徳雄

目 次

●環境宣言	3
●会社概要	4
・許可一覧	4
・事業活動の規模	5
・施設等の状況	5
●環境活動の取り組み体制	7
●環境審査・登録内容	7
●環境活動の内容と実績	8
●具体的環境活動の評価	10
●環境関連法規の順守状況	10
●最高責任者による評価結果	10
●次年度目標と計画	11
●2010年度活動についての今後の課題	11
●第三者の証明・意見	12

有限会社丸徳産業 環境宣言

基本理念

有限会社丸徳産業は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

方針

有限会社丸徳産業は一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、一般貨物自動車運送に係わる全ての事業活動とこれらの製品の環境影響を低減するために次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品又はサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動、製品又はサービスに係わる環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
3. 当社の活動、製品又はサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) リサイクル率の向上
 - (2) 電力使用量の削減
 - (3) 車庫周辺の清掃等社会貢献
 - (4) 水使用量の削減
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し環境マネジメント活動を推進します。

制定日 2005年 6月 1日
改定日 2009年10月10日
有限会社丸徳産業
代表取締役
木下徳雄

■会社概要

- ・事業所名 : 有限会社 丸徳産業
- ・代表者氏名 : 代表取締役 木下徳雄
- ・所在地 : 鹿児島市伊敷4丁目3番21号
TEL. 099-220-0101/FAX. 099-220-7218
- ・事業内容 : 1. 一般廃棄物収集運搬業
2. 産業廃棄物収集運搬業
3. 特別管理産業廃棄物収集運搬業
4. 一般貨物自動車運送業
- ・資本金 : 5,000,000 円
- ・売上高 : 56,000,000 円 (2010年度: 2009年10月~2010年9月)
- ・従業員数 : 7名
- ・敷地面積 : 323.3 平方メートル
- ・延床面積 : 343.7 平方メートル
- ・沿革 : 1978年 3月 創業
1983年 6月 鹿児島市一般廃棄物処理業 許可
1986年 10月 法人設立
1990年 7月 鹿児島市産業廃棄物収集運搬業 許可
1991年 3月 鹿児島県産業廃棄物収集運搬業 許可
1993年 6月 鹿児島市特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可
鹿児島県特別管理産業廃棄物収集運搬業 許可
2003年 1月 一般貨物自動車運送事業 許可
2006年 1月 KES・環境マネジメントシステムSTEP1 認定
2006年 3月 鹿児島市環境管理事業所 認定
2009年 9月 エコアクション21 相互認証取得
- ・費用 : 別途ご連絡ください (品種・排出量・運搬距離等により見積り)

●許可一覧

許可証	自治体	有効期限	許可番号	事業の範囲
一般廃棄物収集運搬業許可証	鹿児島市	2011年7月	第27号	ごみ
産業廃棄物収集運搬業許可証	鹿児島市	2015年7月	8211004282	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、木くず、紙くず、繊維くず
	鹿児島県	2015年6月	04607004282	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
特別管理産業廃棄物収集運搬業許可証	鹿児島市	2013年6月	08251004282	感染性産業廃棄物
	鹿児島県	2013年6月	04650004282	感染性産業廃棄物

●事業活動の規模

収集運搬実績	単位	2008年度 (2007.10~2008.9)	2009年度 (2008.10~2009.9)	2010年度 (2009.10~2010.9)
一般廃棄物	t	1662.31	1599.17	1534.19
産業廃棄物	t	52.12	52.34	37.48

●施設等の状況

・収集運搬車両一覧

車両形式	台数	最大積載量 [kg]
マツダ 2t 塵介車	3	2000
マツダ 2t 平ボディ (ロング)	1	2000
マツダ 1.5t 平ボディ	1	1500
マツダ 軽トラック	1	350

・積替保管施設

所在地 : 鹿児島市伊敷4丁目1220番2, 1221番5
 面積 : 8.3㎡
 種類 : 廃プラスチック, 金属くず, ガラスくず, コンクリートくず及び
 陶磁器くず
 保管上限 : 0.868t
 積上げの高さ : 倉庫内保管

・一般廃棄物収集運搬車両（塵芥車）



・産業廃棄物収集運搬車両



・一般廃棄物登録ステッカー



・産業廃棄物登録ステッカー



・一般廃棄物許可表示及び KES ステッカー



・産業廃棄物積替保管場所表示



・会社外観及び車庫



I. 環境活動の取り組み体制



環境管理責任者：木下慎吾

(TEL:099-220-0101、FAX:099-220-7218、Mail:marutoku@btvm.ne.jp)

II. 環境審査・登録内容

・KES登録証

登録日：2006年1月1日

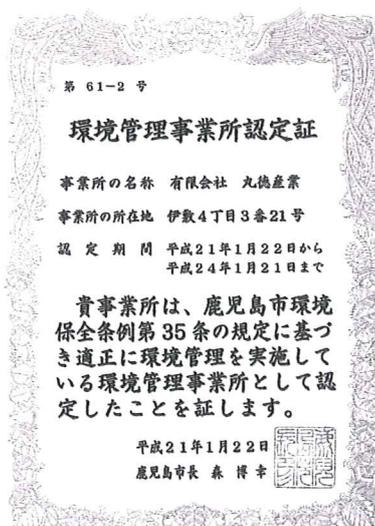
登録番号：KES1-0372



・鹿児島市環境管理事業所認定

認定期間：平成21年1月22日～平成24年1月21日
(3年毎に更新)

登録番号：第61-2号



Ⅲ. 環境活動の内容と実績

●2010年度環境改善活動実績

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
リサイクル率 2%向上 (本年度より実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・収集時の分別徹底 ・顧客への呼び掛け、提案 	15.0%/年 (暫定値)	14.8%/年	B
電力使用量 2009年度比 1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン運転温度の適正管理 ・休憩時間の消灯 ・ECO機能の活用(PC) 	5,908 kwh/年	5,706 kwh/年	A
車庫周辺の清掃 等社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・車庫周辺の清掃 	1回/月	1.4回/月	A

評価記号 A：良好（100%以上） B：やや不足（90～100%） C：不適合（90%以下）

- ・リサイクル率の向上は、顧客から排出される廃棄物を更に分別し、また自社から排出される廃棄物の分別を徹底し、リサイクルされる量を増やす。
今年度は試行期間であるため、目標値は暫定値とした。

- ・車庫周辺清掃の様子



- ・水使用量については、少量で地下水メーターがなく、数値管理が出来ないため、節水表示、声かけ等により従業員への意識付けを徹底している。また、水道栓内部には節水こまを使用、ホースは巻き取り式のノズル付きのものに変更し、使用しながらでも無駄のないよう、節水に繋げている。



●新たに取り組み始めた環境配慮活動

・エコキャップ回収

→顧客や自社、従業員の家庭から排出されるペットボトルキャップを回収し、エコキャップ推進協会へ送付することでリサイクル及び小児麻痺ワクチン寄付に繋げている。



●環境関連情報の管理・活用

・1981年(昭和56年)2月より新聞記事のスクラップを継続中。

環境関連の記事をスクラップすることにより、環境への意識を高め、自治体や地域等の動きにも目を向けている。また、自治体や同業者も活用し、喜ばれている。



IV. 具体的環境活動の評価

☆リサイクル率の向上では、自社排出する廃棄物の分別を中心に、顧客への呼び掛けも行い、リサイクル施設への搬入量の増加を行った。その結果、リサイクル量のみならず、各人のリサイクルに対する意識の向上も図られ、資源は資源として活かせる環境になってきた。

今では各人の意識が定着し、習慣化して管理出来るようになった。

☆電力使用量の削減は、エアコン温度の適正化・ムダな照明の消灯・ECO機能の活用（パソコンの場合）・水の出っぱなし(地下水ポンプ作動による電力浪費)での作業廃止により、前年度に対し、更なる使用量の削減に繋がった。今夏の猛暑の中、目標達成したことは大きな達成感とモチベーション向上に繋がったことと考える。

☆車庫周辺の清掃等については、最低月1回を徹底し、全員参加での活動を怠ることなく実行出来た。また、各人の意識が高まり、気づいたところを清掃するようになった。

V. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、関係機関からの指摘・訴訟等は無かった。

VI. 最高責任者による評価結果

活動開始6年目を迎え、目標を掲げて活動することにより、個々の意識の向上に繋がっている。

本年度からリサイクル率の向上を新たな目標に掲げ、社員一丸となって活動できた。電力使用量の削減についても、異常な猛暑が襲ったにも関わらず目標を達成できたことは大きな自信に繋がった。清掃については、社員自ら動き、気づき、行動し、能動的な活動が出来るようになっている。水使用量の削減は電力使用量の削減とも関わりがあるが、無駄の排除はもちろん、退社時には蛇口の締め忘れが無いか確認をする光景も見られ、意識付いてきた結果だと思われる。

頭打ちになる状況も出てくる中、全社員が同じ方向を向き、環境のことを考え、意識し、結果を出すというサイクルを乱すことなく、これからも活動を継続する。そして、環境への負荷を減らし、よりよい未来になっていくことを願っている。

Ⅶ. 次年度目標と計画

今年度からスタートしたリサイクル率の向上の活動内容を充実させていきたい。清掃は定着した感があり、現状継続で進めていく。

活動を進める中で目標達成に繋がる工夫も考え、意見を出し合い、効率的かつ確実に改善出来る方法も生み出していきたいと考える。

EA21 ガイドラインも視野に入れ、目標追加、活動スケジュールの明確化等、計画的に活動を継続し、短期的、長期的な目標設定を行っていく。

Ⅷ. 2010年度活動についての今後の課題

リサイクル率の向上について、分別の手間という部分では作業効率が低下するデメリットもあるが、資源を資源として生かすため、クリーンな環境にしていくためには必要な時間と考える。分別作業を考慮した作業効率の向上及び排出事業所への声かけ、従業員への作業指導を継続していく必要がある。

電力使用量の節減について、昨年度に続き、各人の意識の定着・向上により、削減目標を達成することが出来たが、温暖化や異常気象の影響が大きく、今後、効果を得ることが困難になるだろうと予想される。

車庫周辺の清掃については、月1回の実施が定着し、周辺の状況で判断し回数を増やして清掃する光景も見られた。清掃への意識、モチベーションを維持出来ていると考える。

来年度は、電力使用量の削減が頭打ちとなっているため、新しいテーマを取り入れ、更なるレベルアップを図りたいと考える。

- ・リサイクル率の向上について、分別作業効率の向上や顧客への呼び掛け等、創意工夫で実績を上げる。
- ・電力使用量の削減に代わる「環境教育の定期実施」を掲げ、環境に対する意識の更なる向上を図る。
- ・車庫周辺の清掃等については、活動範囲の拡大や実施回数の増加等、内容の改善にも視野を広げる。
- ・水使用量削減については、節水器具の導入も視野に入れ、更なる使用量削減及び使用量増加防止に努める。

VI. 第3者の証明・意見

1. 審査機関の証明

有限会社丸徳産業のKES審査を担当しています。環境活動レポートには取組内容が適正に記載されていることを確認しました。

トップ主導の下に社員全員で熱心に環境改善に取り組まれています。収集運搬車両のきれいさ、長年の廃棄物関連情報の蓄積と活用など地域の環境保全推進へのトップの熱い思いを感じています。

今後の更なる発展を期待します。

特定非営利活動法人エコサポートTGAL 理事長
KES主幹審査員・EA21 審査人 久留正成

2. 利用者の感想

有限会社丸徳産業様の環境問題への取組については、環境活動レポートにて、社員全員で取組を実践している会社であり、地球環境関連法規等のもとより、鹿児島県環境基本条例、鹿児島県地球温暖化対策推進条例、鹿児島市環境基本条例、鹿児島市環境保全条例等をよく理解され、また、環境マネジメントを導入し地球環境保全に組織を挙げて積極的に活動しトップダウンによる熱い思いが伝わってまいります。

弊社も環境問題についてはISO14001の取得、環境社会検定試験（エコ検定）等に積極的に取組を行っており、有限会社丸徳産業様と情報交換含め今後もお互いの協力体制を構築していけたらと思っております。

今後の益々の発展を祈念しております。

星光ビル管理株式会社
星光ビルサービス株式会社
鹿児島営業所
所長 坂元睦雄

2010年4月30日発行